

# 大地震に立ち向かえ！

## わが家の防災会議

### 鍵握る 想像力と行動力

早期の地震、倒壊するビルと高層道路、つぶれた住宅と夜空を赤く染める炎。東京に住む私たちも「もし、東京での大きな地震が起きたら」と考えておいて震災対策に取り組む必要があります。阪神・淡路大震災から7年。あのときの思いと行動力は、今、私たちの心に刻みこまれています。

現在、三鷹市を含む南関東の直下地震発生の可能性が指摘されており、大地震は過去の歴史が示すように、いつか必ず発生します。油断なく備えておくことが大切です。

地震に立ち向かうには、わが家や身近な道はどうなるかを具体的に想像して、イメージしたうえの安全対策を取り決め、実施していくという行動力が、いざというときに大きな力となります。

1月15日〜21日は防災とボランティア週間です。これを機会にみなさんのご家庭に配付されている「三鷹市防災マップ」をもっと一度広げて、「防災会議」を開催し、想像力と行動力を身に付けておきましょう。

#### 「家族防災会議」のすすめ

突然起きる大地震の被害を最小限にするためには、住居の安全性の向上も重要ですが、家族が防災に関する情報を共有することにも、家族の役割や連絡方法など大地震発生後の具体的な行動を事前に決めておくことも必要です。これらのことを確認するための「家族防災会議」の開催は非常に有効です。

#### 被害想定と行動相定のすすめ

突然大地震に襲われると、だれもが動揺した状態となり、災害時の行動の確かな「迅速に行こうとすることができなくなってしまう」。

しかし、阪神・淡路大震災などの教訓をとり、いつ、どこで、どんな被害が起るのか、そしてそのときに各自がどのように行動するかを具体的に想定を繰り返すことで、

### わが家の被害想定 三鷹市で震度6弱 みなさん、どうしますか？

平成14年1月18日(金)午後6時。わが家は突然の激しい揺れに襲われた。直後に市内の防災無線のスピーカーから三鷹市では震度6弱を計測した一と大地震速報が放送された。

家や周辺では停電となったり、暗闇で冬の北風が吹く中、悲鳴や助けを求め声が聞こえてくる。家では夕食の準備の最中であり、商店街は買物客で、三鷹駅が倒れ、室内にはカラスの

破片などが散乱している。わが家の周辺ではどこかで火災が発生したように見えます。しかし、消防車のサイレンは聞こえてきた。近頃よくある電柱が倒壊する様子。倒壊した道路は通行できなくなっています。

ラジオでは、今回の地震は震源地とする南関東直下地震であり、23区内や多摩東部で大きな被害が出ている模様で、駅などター

ミナル周辺では多くの負傷者が出るなど混乱していることと報告されているが、まだ詳しい被害状況はつかめていないことである。

◇◇◇

これは、平成9年に東京都が出した被害想定を参考に地震発生直後の状況を想像したものです。地震対策を考えるときは、このような大地震が発生したときの様子をもっと具体的な想像して、家族の安全のために防災行動を考えてみる

心構えが十分でき、いざというときに備えていないで適切な行動を迅速に行うことができないようになります。

施設設備の情報や大地震の備後設備の位置や経路を事前に確認しておくことが必要です。近くにある避難所や応急給水施設、避難場所などは一度実際に歩いて現場に行き、場所や危険箇所として安全な経路などの確認を行い、各自が最新の防災行動ができるようにしておきましょう。

#### 「防災マップ」活用のすすめ

市が1年前に全市に配付した「三鷹市防災マップ」は、避難所、備蓄倉庫、応急給水施設、危険箇所など三鷹市の防災

迅速で安全に地震直後の活

#### 現場確認のすすめ

避難所や備蓄倉庫、応急給水施設、危険箇所などの確認を行い、各自が最新の防災行動ができるようにしておきましょう。

#### 「家庭防災計画」のすすめ

帰宅後、ごまの成果を「家庭防災計画」(避難編)として避難場所の優先順位と避難方法を定めておきましょう。

1日間の「家族防災会議」を終わりました。

①タカ子がかつる中学校(避難所) 通学路は危険箇所があるため、東八道路に迂回。

②一番近いゴルフ練習場(一時避難場所) 最短経路が最も安全。

③都立公園の東端の売店横(広域避難場所) 最短で吉祥寺道に出て、そのまま北上

※すべて集合できない時は、関西の叔父宅と伝言ダイヤル117に自分の安全を伝言

#### 「家族防災会議」のすすめ

家族の役割と分擔

安全対策

家族の役割と分擔

安全対策

#### 「家族防災会議」のすすめ

家族の役割と分擔

安全対策

家族の役割と分擔

安全対策

#### 「家族防災会議」のすすめ

家族の役割と分擔

安全対策

家族の役割と分擔

安全対策

#### 「家族防災会議」のすすめ

家族の役割と分擔

安全対策

家族の役割と分擔

安全対策

#### 「家族防災会議」のすすめ

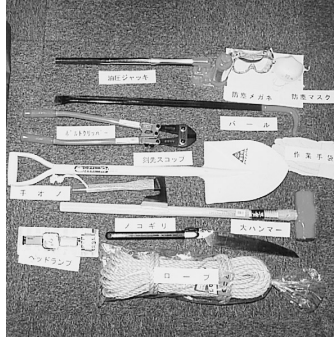
家族の役割と分擔

安全対策

家族の役割と分擔

安全対策

### 救助活動用工具セット



#### ◆防災無線に関するもの

防災行政用無線固定系拡声器

大地震などにより被害がたつときは、市役所から市内に向け、被災状況や避難経路など重要な情報を放送します。平常時は午後5時に「赤とんぼ」のチャイムを鳴らしています。

地域防災行政無線局

学校などの避難所や警察署・消防署・病院10施設など災害活動の拠点となる施設に配備され、有線電話や携帯電話が使用不可能でも相互間で通信が可能です。平成13年度中に市立保育園などにも配備されます。

#### ◆資機材などに関するもの

災害用備蓄倉庫

被災者への配給物資および避難所生活のための生活必需品、資機材などを備蓄しています。将来は全避難所に配備する予定です。

救助活動用工具セット

倒壊家屋から被災者を救出するために、工具(写真右)を配備しています。

自主防災組織や自治会など市民のみならずが消防活動をするためのもので、定期的に訓練を実施しています。

#### ◆給水に関するもの

水道が断水したとき、飲料水や生活用水を給水します。

飲料水給水所(応急給水施設)

市内9施設で1人1日3食×20日程度を確保しています。

生活用水給水所(応急給水施設)

市内14の公共施設で、主に井戸水を揚水し、給水します。

非常用浄水器

プールなどの水を浄化するため避難所に配備しています。

震災用民間井戸

震災時には市内約40カ所の民間井戸が利用できます。

## 大震災に備えて市では次のようなものを設置しています(マークは防災マップ、標識の表示です)